

---

## Ⅱ. 事業の概況（平成30年度）

---

### 損益の状況

事業総利益は25億7,171万円で前年対比4,388万円の減少となりました。

事業利益は1億937万円で前年対比4,746万円の減少となりました。

経常利益は2億2,028万円で前年対比4,662万円の減少となりました。

税引前当期剰余金は1億7,167万円で前年対比1,406万円の減少となりました。

税引後当期剰余金は1億3,383万円で前年対比1,530万円の増加となりました。

---

### 営農指導事業

平成30年度から、農業初級者向けに「みどりの教室」を開講し、受講者の園地においてタブレット端末を活用した指導及び夜間の講習会を行い、23名が受講し、3名が直売所に出荷登録しました。

「農家支援事業」は、294名（延588人・日）の職員が参加し、257件の農家を支援しました。また、集中豪雨による被災農家17件に対して、災害復旧支援を行いました。

鳥獣対策総合アドバイザーによる講義と実習を組み合わせ実施し、159名が参加しました。また、JA独自の「鳥獣被害対策事業」では、駆除実績3,092頭となり、電柵等被害防止負担とあわせ、11,570千円を支援しました。農地中間管理事業を利用した農地の借入貸付契約により、管内5.1haの農地活用に繋がりました。

---

### 園芸部門

1. 地域資源利用の観点から河津桜の切花の利用研究会を立ち上げ、試験出荷を実施しました。
  2. 農業経営支援システムによる、いちご農家へ個人面談を実施し、栽培環境を整え安定した生産に努めました。
  3. 農家の高齢化対策として軽量作物（花麦・豆の花）の普及に努めました。
- 

### 柑橘部門

1. 肥料散布作業の省力化のため、一発肥料や成分維持した軽量化肥料（15kg袋）を導入しました。
  2. 「伊豆の春」の普及に努め、生産部会強化・担い手とのリレーション強化体制整備に努めました。
- 

### 林産部門

1. 山葵は「世界農業遺産」に認定され国内外から知名度も上がり注目される品目となりました。また、販売環境の良化から生産意欲の向上に繋がりました。
  2. 椎茸は原木しいたけ生産力増強対策事業の活用により原木の導入と植菌量の拡大に繋がりました。
- 

### 生活指導事業

1. 「郷土料理を次世代に」をテーマにクッキングフェスタを開催しました。
  2. 「いっしょにやろうよ」の活動により、認定こども園・小学校等で交流を行いました。
  3. グランドゴルフ愛好会・フレッシュミズ活動の促進を図り仲間づくりに努めました。
  4. いきいきライフセミナー（営農加工・手芸・料理・健康・陶芸）などのクラブ活動と健康管理教室を行い、部員の交流や知識の高揚を図りました。
-

---

## 広報事業

---

1. J A 自己改革の取り組みについて各部と連携し詳しく紹介しました。
  2. 食育活動や農業振興、地域サービスなどを行う J A の姿を伝えました。
  3. ホームページを通じ、情報発信の強化に努めました。
  4. 報道機関に積極的に情報提供を行い、J A の存在価値を P R しました。
- 

## 販売事業

---

今年度は、甘夏類の乾燥による着花量の減少やハウスみかんの加温面積減少により出荷量が大きく減少しました。山葵については、夏場の高温や渇水の影響と秋口の豪雨被害により出荷量が減少しましたが、春先からの高値相場が維持され計画を上回る実績となりました。いちごや絹さやは、暖冬による他産地の前進出荷により市場への出荷過剰のため厳しい販売でした。カーネーションについては、需要期の母の日や秋口に相場が下がり大きく減少しました。「ほのぼの売店」については、出荷者や来客も増加し順調に運営できました。柑橘を中心に、格外品の加工向け販売や他 J A ファーマーズへの販売も強化しました。

---

## 購買事業

---

農家組合員の農家所得の増大に繋がる取り組みとして、他 J A と連携し物流体制の強化により生産資材価格を引き下げました。また、生産資材の組合員割引、お買得肥料・お買得農薬の品目・価格の見直しにより生産コスト軽減に取り組みました。

高齢化が著しい管内の組合員、地域住民の暮らしをサポートするため、健康・防災関連商品の提案や普及に取り組みました。

---

### 1. 生産資材

---

肥料・農薬の一部価格を引き下げたことにより、肥料96.0%、農薬97.0%と計画を下回りましたが、保温資材が145.9%と計画を上回り、生産資材全体で102.6%と計画を上回りました。

なお、生産コスト軽減の取り組みとして、J A 伊豆太陽農家所得増大支援金9,356千円を実施しました。

---

### 2. 生活資材

---

シロアリ駆除や電化製品の売上が増加し、その他生活資材は119.0%と計画を上回りましたが、A コープ田子店を9月末に閉店したことにより、食料品74.3%、衣料品71.9%、日用品80.6%と計画を下回り、生活資材全体で93.7%と計画を下回りました。

---

### 3. 葬祭事業

---

管内の葬儀件数が92件減少したことから、施行件数は365件、前年対比46件と大きく減少しました。伊豆斎場の占有率は40.3%となりました。また、終活セミナーをメモリアルホール3会場で開催し、91名の参加をいただきました。

---

---

---

---

## 金融事業

組合員・利用者のライフイベントやニーズに合わせ、JAらしい特色のあるサービス、付加価値のある金融商品・サービスの提案及び情報の提供を通じて、農業メインバンクとしての機能発揮に取り組んでまいりました。

金融・共済合同観劇、合同企画旅行等のイベントの実施、また夏・冬の静岡県の農畜産物が当たるJAらしいキャンペーンを実施した結果、貯金については、年度初来30億円を積み上げることができました。

貸出金については、融資担当者と営農指導員による認定農業者定期訪問、住宅ローン利用者宅への定期訪問を継続実施してきましたが、人口の減少と高齢化の進展から資金需要は拡大基調には至らず、大口貸出金の期限前償還も影響し、年度初来31億円の減少となりました。

また、JA事業運営のあり方（信用事業代理店化）については、政府が定める規制改革実施計画により、理事・経営幹部による検討を行った結果、「農家所得の増大」「地域社会への適切なサービスの提供」を継続・進化させていくために、独自で信用事業運営を実施することを決定しました。

### 金融円滑化に関する対応

当組合は、農業者の協同組織金融機関として「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を最も重要な役割の一つであると認識し、その実現に向けて「金融円滑化にかかる基本の方針」を理事会にて制定し、取り組んでおります。

#### 金融円滑化にかかる基本の方針（概要）

- 1 新規のご融資・お借入条件の変更等のお申込みに対する、柔軟な対応
- 2 お客さまの経営相談等、経営改善に向けた取組みへの支援
- 3 新規のご融資・お借入条件の変更等のご相談・お申込みに対する適切かつ十分な説明
- 4 新規のご融資・お借入条件の変更等に関する苦情相談への公正・迅速・誠実な対応
- 5 金融円滑化法の趣旨を踏まえた適切な対応
- 6 当組合の金融円滑化管理に関する体制

※ 方針の全文については、ホームページをご覧ください。

なお、苦情相談等を適切に行うための体制については以下のとおりとなります。

(1) お客さまからの金融円滑化にかかるご相談の窓口を金融部に設置しているほか、各支店においても承っております。

(2) お客さまからの当組合の金融円滑化にかかる措置に対する苦情については、苦情等統括部署に受付窓口を設置しております。また、各支店で苦情を受けた場合には、当組合所定の手続きに従って、速やかに苦情等統括部署に連絡をし、各支店が連携のうえ、適切な対応を実施する体制を整備しております。

また、当該措置に係る中小企業者の事業についての改善又は再生のための支援を適切に行うための体制については、金融円滑化責任部署又は金融円滑化管理協議会等を中心に、お借入条件の変更等を行ったお客さまの経営状況や経営改善計画の進捗状況を継続的に把握し、必要に応じて経営改善又は再生のための助言等を行う等、お客さまへの支援について真摯に取り組めます。

特に、農業者のお客さまに関しましては、当組合の営農部門とも連携し、経営相談等行う体制を整備しております。

---

## 共済事業

---

J A 共済を取り巻く環境は、依然として地域経済が低迷しており組合員・利用者の高齢化による事業基盤の縮小など厳しい状況が続いております。

本年度は、基本方針である「組合員・利用者との関係強化の徹底と新たな仲間づくり」を主軸に「利用者満足度向上に向けた取り組み」「次世代層との関係構築に向けた取り組み」「総合保障を目指したエリア戦略に向けた取り組み」の更なる向上を目指し事業展開しました。厳しい環境、競合他社がひしめくなか、L Aを中心に保障の充実、総合保障を意識した提案活動に取り組んだ結果、平成30年度の推進総合ポイント目標を達成しました。

また、次世代層との関係構築に向け平成28年度より取り組んできた「アンパンマン子ども倶楽部」の会員も平成30年度に83名が加入し、総勢245名となり、次世代層に向けて医療・収入保障型共済の提案活動を行いました。

短期共済については、前年度に続き自動車事故査定業務が県下J A第1位の対応力評価を頂き、利用者満足度向上に大きく貢献しました。

共済保全業務については、大規模地震や台風等に備えた自然災害損害調査員研修会をはじめ各種研修会を実施し、更なる知識向上、対応力向上を図るとともに、コンプライアンス遵守、意識向上に努めました。

---

## 加工事業

---

販路拡大のため、企業間連携による商品開発や、主力商品であるわさび漬けを県内J A ファーマーズマーケットへ営業・販売しました。しかしながら、管内業況の冷え込み等により、売上は計画を達成できませんでした。

---

## 福祉事業

---

居宅介護支援事業では、年間1,680人の計画に対し1,664人、利用者数では計画を下回りましたが、実績額については特定事業所加算Ⅱを取得したことにより、計画を大きく上回ることができました。

訪問介護事業では、年間780人の計画に対し、732人と計画を下回りました。実績についても特定事業所加算Ⅱを取得しましたが、若干、計画を下回りました。

福祉事業全体では、特定事業所加算Ⅱの取得と費用の削減により、差引利益44,818千円（計画対比100.9%、前年対比102.1%）となり、計画対比、前年対比ともに上回りました。

---

## 監査部門

---

平成30年度は、内部管理態勢および内部牽制を重視した監査の強化に努め、不祥事の未然防止と早期発見に重点を置き取り組みました。本店を含め全事業所の無通告監査及び一部の事業については外部確認を実施し、リスクの高い取引や事務処理等の適正性・有効性を中心に監査を実施しました。

また、管理者に対しては、日常の管理状況を検証し、リスク認識の強化を図るとともに管理意識の高揚に努め、担当者には事務マニュアルに沿った事務処理の徹底とコンプライアンス意識の強化を図る指導監査を実施しました。

---

## 組合が対処すべき重要な課題

### 1. 農家組合員の農家所得増大の取り組み

生産部会の機能発揮による農業経営の維持・向上を図るとともに、農産物直売所の運営等による販路拡大により、農家所得増大を図る必要があります。

### 2. 地域社会への適切なサービス提供の取り組み

総合事業を通じ組合員・地域住民の暮らしに必要なサービスの提供により、JAファンを拡大し、地域になくしてはならない存在となる必要があります。

### 3. 支店・事業所の耐震強化の取り組み

未曾有の災害に備えるため、支店・事業所施設等への耐震強化を図り、組合員・地域利用者および職員の安全強化を図る必要があります。

### 4. 経営の健全性確保の取り組み

自己改革に必要な経営資源を継続的に確保するため、JA合併や店舗・業務の効率化等による収支改善の検討や、健全性の高い事業運営に取り組む必要があります。

## 事業・活動のトピックス（平成30年度）

年 月 日	処 理 事 項
平成30年4月2日	平成29年度定年退職者退所式
4日	第28回青壮年部通常総会
5日	第59回東伊豆町花卉園芸組合通常総会
〃	LA進発式
16日～5月1日	平成29年度決算監事監査
24日	第28回女性部通常総代会
27日	第1回定例理事会
	第1号議案 平成29年度不良債権の処理方針について
	第2号議案 平成30年度コンプライアンス・プログラム について
	第3号議案 出資減口についてについて
	第4号議案 定款の一部変更について
	第5号議案 監事監査規程の全部変更について
	第6号議案 信用事業規程等の一部変更について
	第7号議案 理事貸付について
5月5日	ニューサマー部会消費宣伝
9日	青壮年部河津支部食育活動（芋さし）
11日	東伊豆町花卉園芸組合カーネーション部会消費宣伝
〃	青壮年部稲取支部食育活動（芋さし）
〃	第1回監事会
14日～18日	J A全国監査機構期末Ⅱ監査
16日～23日	地区別座談会
24日	青壮年部熱川支部食育活動（芋さし）
25日	第2回定例理事会
	第1号議案 平成29年度貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案 注記表、事業報告、附属明細書の承認について
	第2号議案 第28回通常総代会について
	第3号議案 旧柿崎給油所地下タンクの処分について
	第4号議案 稲取漁港農林水産物直売所（仮称）への出店について
〃	第2回監事会
〃	南伊豆花卉園芸組合通常総会
29日～30日	いきいきライフセミナー開講式

年 月 日	処 理 事 項
平成30年6月4日	青壮年部南伊豆支部食育活動（田植え）
18日	女性部と常勤理事との話し合い
〃	中伊豆温泉病院と女性部との懇談会
23日	第28回通常総代会（総代875名中795名参加）
26日	J A全国監査機構計画 I 監査
28日	いちご委員会生産者大会
29日	第3回定例理事会
	第1号議案 平成29年度業務報告書について
	第2号議案 平成29年度連結業務報告書について
	第3号議案 東部地区 J A 合併研究委員会への参加について
	第4号議案 平成29年度決算監事監査指摘事項回答書について
	第5号議案 農産物検査業務規程の一部変更について
	第6号議案 A T M の更新に伴うリース契約締結について
	第7号議案 固定資産（支店 O T M）の取得について
	第8号議案 平成30年度理事報酬額について
	第9号議案 平成30年度会議日当について
	第10号議案 債務者破産に伴う債権者代位による出資減口について
〃	第3回監事会
7月3日	食農教育推進委員会
〃	第65回伊豆花卉園芸組合連合会通常総会
〃	野ぶき部会総会・販売報告会
4日	奥伊豆椎茸生産者連合会総会
5日	柑橘委員会・中晩柑販売反省会
11日	松崎朝市会総会
18日	第1回東部地区 J A 合併研究委員会
26日	東部地区ふれあい祭
〃	静岡県 J A 青壮年組織活動実績・ J A 青年の主張発表大会
〃	（東）わさび共販委員会青年部消費宣伝
27日	夏休みクッキングフェスタ（西部）
〃	絹さや部会総会・販売報告会
28日	ハウスみかん消費宣伝
30日	第4回定例理事会
	第1号議案 平成29年度ディスクロージャー誌の開示について
	第2号議案 出資減口について
	第3号議案 会計監査人の選定方針について
	第4号議案 大口貸付について
〃	第4回監事会
31日	夏休みクッキングフェスタ（中・南部）

年 月 日	処 理 事 項
平成30年8月1日	夏休みクッキングフェスタ（東部）
6日～10日	J A 全国監査機構期中 I 監査
8日	花麦部会栽培講習会
15日	職場体験イベント「1日こども店長」
20日	柑橘委員会
21日	稲取漁港直売所地鎮祭
23日	岩井茂樹参議院議員と青壮年部の意見交換会
24日	第18回柑橘生産者大会
28日	第5回定例理事会
	第1号議案 固定資産（竹麻支店）の取得について
	第2号議案 旧松崎分庁舎の解体について
〃	第5回監事会
平成30年9月1日	中部・南部地区ふれあい祭
5日	河津町花卉園芸組合通常総会
〃	竹麻支店起工式
7日	㊟わさび共販委員会中間検討会
8日	西部地区ふれあい祭
14日	第6回監事会
〃	中西部わさび委員会総会・販売報告会
21日	はるひ部会総会
27日	第6回定例理事会
	第1号議案 固定資産（青市農機具センター）の取得について
	第2号議案 破綻懸念先に区分する債務者への新たな信用の供与
	について



年 月 日	処 理 事 項
平成30年10月1日	全組合員アンケート開始（2月末まで）
〃	平成30年度仮決算棚卸監査
3日	柑橘委員会
11日	みどりの教室開講式
13日	J Aクリーンロード大作戦
15日～31日	平成30年度仮決算監事監査
17日	南伊豆花卉全体販売会議
22日	第33回有機農法部会総会・販売報告会
25日	賀茂農林事務所との情報交換会
〃	中核的人材育成「太陽塾」5期生開講式
30日	第7回定例理事会
	第1号議案 不良債権処理の方針について
	第2号議案 平成30年度仮決算について
	第3号議案 内部統制に関する基本方針の策定について
	第4号議案 中部支店・下田支店統合に伴う改築工事について
	第5号議案 理事貸付について
平成30年11月1日	平成30年度フレッシュミズ開講式
1日～2日	静岡県常例検査（事前）
3日	東部地区合同婚活イベント
6日～7日	平成30年度地区別認定農業者懇談会
7日	稲取漁港直売所JA設立総会
12日	葬祭終活セミナー（メモリアル東伊豆）
〃	J A全国監査機構計画Ⅱ監査
13日	第7回監事会
14日～15日	平成30年度金融・共済合同企画旅行 「昇仙峡の紅葉と石和温泉の旅」
16日	ハウスみかん部会総会・販売報告会
20日	竹麻支店直売所朝市会設立総会
26日	青壮年部と常勤理事との話し合い
〃	廃プラスチック適正処理推進委員会
29日	第8回定例理事会
	第1号議案 出資減口について
	第2号議案 第29回J A伊豆太陽農業祭開催について
30日	葬祭終活セミナー（メモリアル河津）

年 月 日	処 理 事 項
平成30年12月4日	いちご委員会立毛品評会
5日	柑橘委員会
6日	葬祭終活セミナー（メモリアル吉佐美）
7日	県花卉連カーネーション部会役員会及び品種検討会
12日～14日	平成30年度金融・共済合同企画旅行 「能登半島と北陸二大名湯の旅」
17日	第2回東部地区JA合併研究委員会
〃	平成30年度秋冬青果物販売トップセールス
26日	第9回定例理事会
	第1号議案 出資減口について
	第2号議案 平成30年度仮決算監事監査指摘事項回答書について
	第3号議案 固定資産（稲取漁港直売所備品）の取得について
	第4号議案 貸出に係る民間保証（優良保証）会社の見直しに ついて
	第5号議案 共済規程の一部変更について
〃	第8回監事会
平成31年1月4日	ほのぼの売店初売り抽選会
9日～18日	静岡県常例検査
17日	女性部発表大会東部地区予選
〃	第30回松崎町農業振興会ポンカン品評会表彰式
19日	下田高校南伊豆分校農芸祭 農産物品評会表彰式
22日～24日	JA全国監査機構期中Ⅱ監査
24日、25日	理事専門委員会
28日	青壮年部発表大会東部地区予選
29日	第10回定例理事会
	第1号議案 体制整備基準の見直しに係る職制規程の一部変更 について
	第2号議案 竹麻支店の備品取得について
	第3号議案 熱川冷風貯蔵庫の解体について
	第4号議案 宇久須給油所の解体について
	第5号議案 貸出に係る民間保証（一般保証）会社の見直し について

年 月 日	処 理 事 項
平成31年2月1日～3日	第68回関東東海花の展覧会
5日～8日	金融・共済合同観劇「増位山太志郎・松居直美歌謡ショー」
15日	マーガレット消費宣伝
18日	Ⓢわさび共販委員会総会・販売検討会
19日	南伊豆山葵組合総会
20日	J A伊豆太陽1支店1協同活動発表大会
21日、25日	理事専門委員会
22日	静岡県柑橘生産者大会
25日	第62回静岡県J A女性部発表大会
27日	平成31年度新採用職員入所式
28日	第11回定例理事会
	第1号議案 平成31年度事業計画（案）について
	第2号議案 J A事業運営（信用事業運営体制）のあり方について
	第3号議案 出資減口について
	第4号議案 就業規則の一部変更について
3月2日	第29回J A伊豆太陽農業祭
5日	竹麻支店竣工・落成式
11日	竹麻支店移転オープン
11日～14日	J A全国監査機構資産自己査定監査
13日	第9回監事会
18日	稲取漁港直売所朝市会総会
22日	いきいきライフセミナー閉講式
25日	新下田支店オープン
28日	第12回定例理事会
	第1号議案 メモリアル松崎の建設について
	第2号議案 営業時間細則の一部変更について
	第3号議案 経理規程等の制定について
	第4号議案 マネロン等および反社等への対応に関する規程類の 新設及び一部変更について
	第5号議案 内部監査規程の一部変更について
	第6号議案 平成31年度 余裕金運用について
	第7号議案 平成31年度 余裕金運用方針・計画について
29日、31日	J A全国監査機構実査・棚卸立会
31日	平成30年度決算棚卸監査